



## 多世代が集う場所「子ども食堂」

金子小児科院長・みんなや食堂代表 金子 淳子

2017年7月にスタートした“みんなや食堂”は、今月で4年目を迎えました。月2回西法寺で開催、毎回300人が集まる全国最大規模の子ども食堂です。「子ども」食堂と言っても、赤ちゃんからシルバー世代までどなたでも利用できます。食事は誰でも無料です。

寄付でいただくお米やパン、麺、野菜、肉、魚、卵・・・季節の食材で作られたバランスのよいメニューは、いつもとびきり美味しく仕上がっています。フルーツやケーキ、ソフトクリームと、デザートも充実のラインナップ。野菜嫌いの子どももここでは不思議とよく食べます。初めて会った人どうし、笑顔で会話がはずむ心地の良い空間、たくさんのボランティアスタッフがいつも何かしら子どもたちに声かけをしています。ここは単なる食事の場でなく、皆で囲む大きな食卓なのです。

食事会場の隣、お寺の本堂では、バイオリンやピアノ、ハープやお琴のミニコンサート、工作やワークショップなど、子どもたちにさまざまな体験や経験をしてもらおうと毎回イベントを企画しています。特に、JAL山口支店の協力による折り紙ヒコーキ教室は、いつも子どもたちに大人気です。

さて、新型コロナウイルス感染症流行のあおりを受けて、みんなや食堂の風景は一変しました。会場での飲食をいったん休止、お弁当の持ち帰りに切り替えました。「3食作ることが苦痛」「子どもたちだけの留守番が心配」「食費がかさむ」など、休園・休校を機に



お母さん達の悲鳴にも似た声が寄せられるようになり、お昼のお弁当配食を始めました。子育て家庭の悩みや不安を丁寧に拾い上げるためのブースも設置しました。

みんなや食堂は多世代が集う交流の場であるとともに、困り事を抱えた子どもと家族をあたたく包みこみサポートする包摂の場です。地域の方々の理解とご協力をいただきながらこれからも着々と歩みを進めていきたいと思っています。

寄付については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kaneko-kids-club.com/minnya/>



## 宇部市まちなか環境学習館（銀天エコプラザ）ご利用案内

開館時間：9時～21時 休館日：毎週火曜日、年末年始（12/29～1/3）

### 3F 学習室 無料

静かな環境の中、学習に読書に集中してご利用頂ける学習室です。幅広い年代の方にご来館頂いています。環境関連等の図書その他、うべまちなかブックコーナーも備えています。

### 2F・4F ミーティングルーム

会議や仲間同士の茶話会等にご利用頂く事のできる格安のミーティングルームです。長机、椅子、ホワイトボードを完備しています。

ミーティングルーム利用料金	小（定員5名）	大（定員11名）
9:00～12:00(3時間)	220円	550円
12:00～17:00(5時間)	330円	935円
17:00～21:00(4時間)	385円	1,045円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間
※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む)各時間帯1,100円		



2Fミーティングルーム(小)



3F学習室



4Fミーティングルーム(大)

コロナ対策で、各部屋の利用可能人数を通常よりも減らしております。ご了承ください。



## まちなかおそうじ隊

8月30日(日) 15:00～

学習館前に集合(道具は不要)

学習館では、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードを掃除しています。

予約は不要です。お気軽にどうぞ!

## 2020年度第1回環境サロン

日時：2020年8月20日(木) 18時～20時

場所：まちなか環境学習館 4階

話題提供者：村上ひとみ 先生

(山口大学 大学院創成科学研究科 准教授)

演題：「環境と人間」に取り組んで(仮題)

資料代200円(高校生以下無料)

「地球に恩返し」

皆さんは自然がお好きですか？私は赤ちゃんの頃に釣りを始めました。本当です！自然の中で過ごすことは私にとっての日常であり、もはや自然は自分の親のような存在です。しかし、自然は美しいだけではありません。

自分を育ててくれた自然のため、高校生の時にゴミ拾いを主軸とした環境活動を始めました。私は生き物が棲みやすい環境づくりをすることこそが『地球に恩返し』だと考えています。同年代の人にも自然の魅力そして現状を知ってもらうべく、高校で参加者を募り海・川を中心とした地域の清掃活動に取り組みました。高校を卒業した今は、学校行事として後輩・先生方が引き継いでくれており、参加者が年々増加しています。また宇部市の自然環境について調査・実験を行い、市長や全校生徒の前で発表をしたこともあります。元々別の夢があって高校に入学した訳ですが、高校でのこれらの活動が自分の進路を大きく変えました。

そして私は今大学で環境に関することを学んでいます。自分の知らなかった環境問題も山ほどあり、さらに学びを深めていくうちに、『地球に恩返し』という目標を達成するにはこれまでの活動はまだ不十分だったと痛感しました。とても幅が広く、なおかつ複雑な環境問題を解決するには、広い視野をもって経済的背景や歴史的背景まで理解しなければなりません。

ばなりません。

『Think Globally, Act Locally』私はこの有名な言葉の本質はGloballyにあり、個人の活動だけにとどめず世界に目を向けることだと捉えています。環境問題は一人の力では解決できません。自然が好きで仲間と共にみんなで行動を起こすことで初めて環境活動の一步を踏み出せると考えています。私の役割は地域のみならず、全国そして全世界の環境活動の輪を繋げ広げることです。美しい自然を愛し続け、未来ある子供たちのために地球と一緒に守って行きませんか？私は地球のために生き、歩み続けます。



約80人の香川高校生が海岸清掃に参加



回収したゴミと私

原田 晃成(20)

東海大学海洋学部環境社会学科 2年  
宇部フロンティア大学附属香川高校 食物調理科 H30年卒

うべ環境コミュニティ会員 コラム

「アートコミュニケーターとは」

この度始まる「うーばー・プロジェクト」。定義では「アートを介して人と人、人と作品、人と場所を繋ぐプレーヤーの事」とあります。では何故アートを介するのか、そもそもアートって何でしょうか。私が思うに、東京六本木の森美術館館長南條氏の回答が的を得ています。「ある物がアートであるかどうか議論する事は意味はない。これは面白い、どんな意味があるのかを議論する事が大切。」同感です。例えばバンクシーの絵と単なる落書きの違いは何でしょうか。それは、メッセージの強さだと思います。本物のアートには強いメッセージがあります。そのメッセージは感性を刺激します。そして刺激の連鎖が始まり、興味→観察→疑問→観察→洞察→発信と繋がります。

現在の我々は自分で問題に気づき、その解決法を考え発信する力が弱くなっているのかも知れません。これからは今までの常識では解決できないことが益々多くなるでしょう。そのため、多くの人々が閉塞感や不安を感じているようです。どうしていいか

分からない、分からないから考えないという悪循環に陥っているようです。私もよく分かりませんでした。丁度その頃出会ったのがアートコミュニケーターという考えでした。直感的にこれは突破口になるかもしれないと感じました。市の対応も機敏でした。

このアートコミュニケーターは東京で始まり9年間の実績があります。結果として、年を重ねる毎に驚きや感動が広がっています。

「質の高いコミュニケーションは社会を変える事ができる」。この活動の真髄だと思います。

うーばー・プロジェクト\*

アートで一人ひとりの可能性を活かしあい、新しい価値と創造的なコミュニティづくりを目指します。

うーばー (UBAer) とは?\*

- ① UB (宇部) + A (アート) + er (つなげる人) という思いを込めています。
- ② 英語 (uber) では「すごい」「優れている」、ドイツ語 (über) では「～を超える」「～の上の」という意味があり、新しい未来を創造し実施していくプレイヤーを目指します。

\*うーばープロジェクト応募チラシより抜粋  
[https://www.city.ube.yamaguchi.jp/boshuu/bunka\\_sports/documents/ubaer\\_2020.pdf](https://www.city.ube.yamaguchi.jp/boshuu/bunka_sports/documents/ubaer_2020.pdf)

さらに詳しい情報は、うーばーホームページをご覧ください。  
<https://ubaer.jimdosite.com/>

宇部志立市民大学 環境・アート学部08会会員  
岡田 譲二

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号  
交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分  
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分  
駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)  
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com  
開館時間 9時～21時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>  
休館日 毎週火曜日、年末年始 (12月29日～1月3日)

